

1 基本情報	
施設名又はグループ名	指定管理者名及び団体概要
潮風公園・台場公園	(指定管理者名) 東京臨海副都心グループ (団体の概要) (株)東京臨海ホールディングスが統括し、東京港埠頭(株)が実績と専門のノウハウを生かした維持管理を行い、(株)東京レポートセンターが近隣ビルと駐車場の管理を行う。
指定期間	
H 28.4.1～ R 8.3.31 (10年間)	

2 施設名	3 収支(単位:千円)			
		令和4年度	令和3年度	公園別支出額
	項目	金額	金額	
東京都立潮風公園 東京都立台場公園	収入計	100,576	112,890	
	内 指定管理料	100,576	112,890	《潮風公園》93,948千円
	内 利用料金	0	0	《台場公園》5,695千円
	支出計	99,643	104,178	
	収支差	933	8,712	

4 管理運営の概要

特記すべき事項

◆東京2020大会開催後の再開園対応

- ・東京2020大会後の再開園に向け、競技会場となった芝生広場の養生管理や潮風開放前のネットフェンスやロープ柵の設置による安全管理等を行い、開放までのスケジュールをホームページやSNSで情報発信し、公園利用者へご理解いただけるよう努めた。
- ・パーベキュー広場再開に向け、老朽化していた洗い場の砕石舗装や炭処理場等の補修等を行い、広場全体の落葉清掃を実施する等、公園利用者や運営事業者が安心・安全で快適にご利用いただけるよう再整備を行った。

◆「東京都都市公園制度制定150周年記念事業」への取組

- ・近隣保育園との協働による植樹
東京都都市公園制度制定150周年記念事業の1つ「It's My Park Day!」への取組みとして、港区立お台場保育園年長組24名、保育士の先生4名と公園内で枯損していたハナミズキの補植を実施した。
- ・公園めぐりデジタルスタンプラリー実施に向けた連絡調整
ホームページやSNSでの情報発信や、公園管理事務所ではチラシの配布やポスターの掲示等、業の周知、認知度向上に努めた。

◆コロナ禍におけるイベント開催

- ・自主事業の開催(計5件212名参加)
公園の再開園により、昨年度まで開催できなかった自主事業を実施することができ、公園の利用活性を図ることができた。
- ・「イベントレギュレーションブック」の作成による東京都との利用規則の共有と連携
スポーツや音楽等のイベントが開催できるようになったため、イベント利用の取扱いについて「レギュレーションブック」を作成して東京都と共有し、東京都と連携してイベント主催者との利用調整を行っている。また、主催者への利用指導や、イベントによる芝生の欠損や施設破損等への現地立会、原状復旧への指導を行う等、管理を徹底した。

◆来園者増に向けての取組み

- ・公園ホームページ、SNSによる開花情報、イベント情報の発信
公園HPやSNSによる季節の草花の開花情報や公園で実施するイベント情報をタイムリーに発信することで、来園者増に努めた。
- ・デジタルサイネージの設置
公園管理事務所にデジタルサイネージを設置し、開花情報やイベント情報を公園利用者に向けて直接情報発信し、公園利用者の利便性を向上させた。
- ・QRトランスレーター導入
台場公園の歴史を紹介するため、QRトランスレーターを導入し、公園の史跡や歴史を多言語の音声でご案内できる環境を整えた。
- ・AR技術の取り入れ
大砲のある風景をスマホ上で再現できるようにするため、砲台跡付近にAR読み込みQRコード及び手順書を記載した看板を設置した。砲台を復元している様子が見られ、公園の新たな利用方法を創出することができた。

◆都民協働による公園の利活用

- ・環境美化活動(潮風公園10社141名 台場公園2社33名)
企業、団体の美化活動、CSR活動の場として公園を提供した。美化活動に使用する清掃道具の貸出しやゴミの回収等活動をサポートすることで、公園の新たな利用促進に努めた。

5 管理状況(維持管理)

- ・当初計画に基づき、施設点検や修繕を着実かつ適切に行った。実施にあたっては当社独自で作成の不具合処理調書を活用して速やかに補修作業を行い施設の適正な維持管理に努めた。R4実績:年間161件の不具合を発見し155件改善。
- ・昨年まで閉鎖区域内で、かつ大会施設があったため手入れが出来なかった樹木を中心に樹木医が診断を行い、その結果を基に都と協議しながら対象木について手入れを実施した。これにより危険木の倒伏防止につなげるとともに、林床の明るさ確保と樹木の健全な育成環境の確保を図った。また、一部のエリアでは高さ抑制を行い、倒伏防止とともに周辺景観との調和を図った。

6 利用者アンケート結果

実施方法: 公園内で調査票を配布・回収

施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の対応
潮風公園	4.5	4.5	4.4	4.4	4.5
台場公園	4.5	4.4	4.4	4.4	4.5

7 入園者数の状況(単位:人)

施設名	当該年度	分析
潮風公園	150,939	前年度、令和3年4月～11月は東京2020大会開催に伴い全域閉鎖。令和3年12月1日から公園南側のみ再開園した。今年度、令和4年4月から公園北側も再開園となり近隣住民の利用や遠足など団体利用が増えた。また音楽・スポーツイベントによる利用者も増加している。前年度は閉鎖期間もあり、前年度と比較すると今年度は来園者が増加している。
台場公園	61,666	前年度、令和3年4月～10月は東京2020大会開催に伴い閉鎖し11月1日から再開園となった。前年度は新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛により11月の再開園後も来園者は多くなかったが、今年度は年間を通じて開園しており、外出自粛の規制も緩和されてきたことから来園者が増加している。
合計	212,605	

東京臨海副都心グループ 都立潮風公園

様式1-②

本年度、力を入れて取り組んだ5つの取り組み

東京2020
大会開催後の
再開園対応

「東京都都市公
園制度制定
150周年記念
事業」への取組

コロナ禍における
イベント対応

来園者増に
向けての取組

都民協働による
公園の利活用

1 東京2020大会開催後の再開園対応

(1) 芝生広場や潮風橋再開放までの維持管理

・調整・情報発信 (様式3-③ 8-23)

・大会開催後に張り直した芝生の養生期間中には、ロープ柵を設置した上で「芝生養生中」の掲示を行い、芝生の活着や生育を妨げないよう配慮した。また、芝生広場開放までのスケジュール等をホームページやSNSで情報発信することで周知を行い、公園利用者へご理解いただけるよう努めたため苦情等は発生しなかった。

・潮風橋開放前の閉鎖期間中に、動線となる園路沿い斜面にロープ柵を設置し公園利用者の安心・安全を確保した。また、隣接する高速道路との境界に新たにネットフェンスを設置し、公園利用者による侵入等が発生しないよう安全管理を徹底した。



芝生養生中の様子



芝生開放までの情報発信

(2) バーベキュー広場再開に向けた整備及び新規売店設置に向けた調整 (様式3-② 4-17)

・バーベキュー広場再開に向け、老朽化していた洗い場の碎石舗装や炭処理場等の補修等を行い、広場全体の落葉清掃を実施する等、公園利用者や運営事業者が安心・安全で快適にご利用いただけるよう再整備を行った。

また、令和5年度末頃から運営予定の新規売店設置に向け、園地整備による樹木の移植箇所の検討や売店周辺ウッドデッキ整備、公園施設の供用方法等について、運営事業者と打合せや現地調査を継続実施している。



ロープ柵・ネットフェンス設置



バーベキュー広場洗い場・ウッドデッキ整備



(3) 夏季・冬季樹木剪定による樹林地管理

(様式5-樹木剪定)

(夏季剪定:114本 冬季剪定227本 計341本剪定)

・公園開園後も夏季・冬季に樹木剪定を実施し、枯れ枝等の剪定による台風対策や、太陽の広場周りの間伐による見通しの確保、バーベキュー広場内マツの剪定等により、公園の景観及び安全性を確保することができた。



バーベキュー広場
落葉清掃 実施後



剪定による樹林地管理

(4) オリンピックレガシーへの対応 (様式3-② 23-27)

・大会のレガシーとして施工された銘板設置工事について、担当者や現場代理人と打ち合わせ、現地立会い等調整を行い、設置完了後には引継ぎを行った。銘板設置について公園ホームページやSNSで情報発信を行った。
今後、銘板の清掃や状況報告を必要に応じて行っていく。



オリンピックレガシー銘板設置立会い

2 「東京都都市公園制度制定150周年記念事業」への取組

(1) 近隣保育園との協働による植樹

・東京都都市公園制度制定150周年記念事業の1つ「Its My Park Day!」への取組みとして、港区立お台場保育園年長組24名、保育士の先生4名と公園内で枯損していたハナミズキの補植を実施した。



保育園児とのハナミズキ植樹の様子

(2) 公園めぐりデジタルスタンプラリー実施に向けた連絡調整

・公園めぐりデジタルスタンプラリー対象公園として、ホームページやSNSでの情報発信や、公園管理事務所ではチラシの配布やポスターの掲示等、**150周年記念事業の周知、認知度向上に努めた。**

今後、スタンプラリー景品配布への対応などマニュアルを元に体制を整えていく。



潮風公園



霧輪公園



芝公園



石神井公園



デジタルスタンプラリーアプリ・ポスター掲示

3 コロナ禍におけるイベント対応

(1) 自主事業の開催 (様式3-② 1-17他)

・東京2020大会後の公園再開園により、昨年度まで開催できなかった自主事業を実施することができ、**公園の利用活性を図ることができた。**

今年度実施した自主事業は下記の通り

(計5件212名参加)

- ・釣り&バーベキュー教室(31名)
- ・秋空ヨガ(105名)
- ・凧作り凧揚げ体験教室(15名)
- ・ミニ門松作り教室(53名)
- ・防災キャンプ教室(8名)

(2) スポーツ・音楽イベント開催時の主催者との連絡調整や指導 (様式3-② 11-18他)

・芝生広場開放後には、イベント事業者によるスポーツや音楽イベントが実施された。イベント主催者への利用指導の徹底により、**イベントへの近隣住民や公園利用者からの苦情等は発生しなかった。**

また、イベントによる破損、欠損等の原状復旧への指導を徹底することで、**公園施設・環境を適正に維持することができている。**引継ぎ東京都と連携し、調整を行っていく。



釣り&バーベキュー教室



秋空ヨガ



凧作り凧揚げ体験教室



ミニ門松作り教室

(3) 環境学習事業 (様式3-② 1-17 他)

・公園内の自然環境について学習する機会として、中央区常盤小学校5学年児童を対象に「樹木学習会」を実施した。自然に触れ合う中で身近な自然環境の大切さを理解させ、また潮風公園を含めた臨海副都心地域の公園の見どころ紹介を行って公園のPRも実施している。



イベントレギュレーションブック



イベント後の芝生原状復旧

(4) 「イベントレギュレーションブック」の作成による東京都との利用規則の共有と連携 (様式3-② 11-18)

芝生広場解放後、スポーツや音楽等のイベントが開催できるようになったため、イベント利用の取扱いについて「レギュレーションブック」を作成して東京都と共有し、東京都と連携してイベント主催者との利用調整を行っている。

利用規則を明確にすることで、主催者への指導や、イベントによる芝生の欠損や施設破損等への現地立会、原状復旧への指導を行う等、**管理を徹底したため、イベント時の事件、事故等は発生しなかった。**



国際大使館フレンドリーラン



音楽イベント

4 来園者増に向けての取組み

(1) 公園HP、SNSによる開花情報、イベント情報の発信 (様式3-② 4-17他)

・公園HPやツイッター、インスタグラムによる季節の草花の開花情報や公園で実施する各種イベント情報をタイムリーに発信することで、来園者増に努めた。令和4年度潮風公園ツイッターインプレッション数は累計**116,814件(3/31時点)**となり、令和3年度の97,734件より**19,080件(19.5%)増**となった。

※インプレッション数とは「投稿や広告が表示された回数」のことを指し、情報発信効果の指標となる。



Instagram・Twitterによる樹木・草花開花情報の発信

(2) デジタルサイネージの設置 (様式3-② 4-17)

・公園管理事務所にデジタルサイネージを設置し、開花情報やイベント情報を公園利用者に向けても直接情報発信し、**公園利用者の利便性を向上させた。**



デジタルサイネージの設置

5 都民協働による公園の利活用

(様式3-② 6-17)

・企業との協働による環境美化ボランティア活動を実施し**10社141名**にご参加いただいた。**環境美化活動により、快適な公園環境を維持するとともに、企業との連携を図る等、新たな公園の利活用方法を創出することができた。**



環境美化ボランティア活動

様式1-②

東京臨海副都心グループ 都立台場公園

歴史と文化
を活かした
公園管理

都民協働・
自主事業に
よる公園の
利活用

来園者増に
向けての
取組

「東京都都
市公園制
度制定
150周年
記念事業」
への取組

本年度、力を入れて取り組んだ4つの取り組み

1 歴史と文化を活かした公園管理

(1) QRトランスレーター導入 (様式3-② 3-17他)

・台場公園の歴史を紹介するため、QRトランスレーターを導入し、公園の史跡や歴史を多言語の音声でご案内できる環境を整えた。



園内各所へのQRトランスレーター掲示

(2) AR技術の活用 (様式3-② 3-17他)

・大砲のある風景をスマホ上で再現できるようにするため、砲台跡付近にAR読み込み用QRコード及び手順書を記載した看板を設置した。

公園利用者がQRコードを読み取り、砲台を復元している様子が見られ、公園の新たな利用方法を創出することができた。



AR技術による砲台の復元

(3) 景観に配慮した公園の維持管理 (様式3-③ 24-27他)

・立入禁止区域への竹垣の設置や、公園を囲む石垣の実生木を撤去するなど、景観に配慮した維持管理を行った。

2 都民協働・自主事業による公園の利活用

(1) 環境美化ボランティア活動 (2社33名)

(様式3-② 6-17)

・企業、団体の美化活動、CSR活動の場として公園を提供。美化活動に使用する清掃道具の貸出しやゴミの回収等活動をサポートすることで、公園の新たな利用促進に努めた。



竹垣設置



石垣の実生木撤去



(2) ゴミ拾いイベントの実施 (様式3-② 25-19他)

(6・9・11月実施 延べ1,179名)

・「東京ベイ・クリーンアップ大作戦」を実施し、隣接するお台場海浜公園とともに清掃活動を実施した。



環境美化ボランティア活動



ゴミ拾いイベント

3 来園者増に向けての取組み

(1) 公園HP、SNSによる開花情報の発信

(様式3-② 4-17他)

・公園HPやツイッター、インスタグラムで季節の草花の開花情報や公園情報など公園の魅力を発信し来園者増に努めた。



SNSによる
開花情報の発信



雪吊りの設置

(2) 続日本100名城スタンプの設置 (様式3-② 22-19他)

・台場公園が望めるお台場海浜公園マリンハウス内にスタンプを設置した。(参加者延べ〇〇名) また、スタンプと合わせて、台場公園の史跡に関するパンフレットやポストカードも設置・配布することでサービス向上に努めた。



続日本100名城
スタンプの設置



業界誌「東京港」
301号掲載

(3) 雪吊りの設置 (様式3-② 3-17他)

・台場公園の入口にある仕立ての良い松3本に「雪吊り」を実施し、日本の伝統文化や美しい景観を創出した。

・業界誌「東京港」301号に掲載いただく等イベントとして情報発信し来園者増に努めた。

4 「東京都都市公園制度制定150周年記念事業」への取組

・公園めぐりデジタルスタンプラリー対象公園として、HPやSNSでの情報発信を行い、記念事業の周知、認知度向上に努めた。 -5-